

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

中学の頃から唯一留学してみたいという夢があったので、それに私の部活の顧問であり、進路の先生であり、また先生に相談したところ同志社女子大学はどうかと勧められていたという理由です。

(2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

1学期は毎日に過去問を解く(よほどの) 特別な受験対策には取り組んでいませんでした。日々の授業をしっかり受け、私は予備校等には通っていないので、毎日の学校の自習室で毎日の時間ギリギリまで勉強するということをひたすら続けていました。

[夏休み]

学校の補習をこなすだけ全部として毎日学校へ行き、勉強し、自習室で、その日の補習の復習をしていました。夏休み～11月まで模試が立てこんでおり、その復習と、夏休みの補習で正直いはいはいで、同志社女子大学の対策は全然できず、実際過去問を解き始めたのは、公募推薦1ヶ月(12月)前からです。

[2学期～入試直前]

まず、過去問ですが、同志社女子大学が配付していた過去問集と赤本を使用していました。私は国語より英語の得点upを重視していたので、英語の勉強方法について一例を示します。過去問→丸つけ→本文訳と照らしながら本文読解→単語調べ、文法調べという風に自分が次々とした得点、をこなすように復習します。そしてしばらく別の過去問を解いた後、もう一度やり直すという風に勉強していました。何回もせよ自分の苦手な文法も分かると思います。そこは参考書で徹底的に潰しました。単語はシス単などを使いつつも本文に出て来た単語を覚える方が私には合っていたのでそこを覚えていました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私はスマホ依存気味なためだったのでSNS、ゲームは全部消し、スマホ自体に使用制限をかけてほとんどスマホを使わないという生活をしていました。スマホは一度使うと馬太目なので断つという感じでした。あんまり勉強できなかった...大丈夫かな...と思うこともありましたが、とにかく毎日勉強するという事は続けました。

私自身不健康な生活をしていたので、あまり言えませんが、ちゃんとベッドで寝る、寝落ちしないという事は守っていました。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私の場合はですが、当日まで不安は取ることはできませんでした。でも毎日義務的にして頑張ってきたと思います。その努力は結果はどうかめれ自分に与えてくれると良いものになると思います。応援しています。